

1 前期課程

学位規程第5条に定める学位論文審査委員会（以下「委員会」という。）による修士論文の査読と論文発表会を経て、以下の項目について基準を満たしているかを審査し、総合評価を100点満点として60点以上を合格とする。

論文審査項目

① 専門性

- ・研究の背景と目的を理解して、課題を明確にしている。
- ・問題発見と解決法の提案に必要な実験や調査が適切に行われている。
- ・実験や調査によって得られたデータ等の分析と考察が適切になされている。

② 論旨の適切性

- ・修士論文が、研究背景と研究目的を踏まえ、実験や調査によって得られたデータ等の分析から考察に至るまで一貫した論考がなされている。

③ 発表・質疑応答

- ・論文発表会での発表と質疑応答が適切になされている。

④ 研究者倫理・技術者倫理

- ・研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び管理、学位論文の作成及び発表に関して、適切な倫理的配慮がなされている。また、学内の研究活動の不正行為防止に関する規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守している。

2 後期課程

委員会による博士論文の査読と論文発表会を経て、以下の項目について基準を満たしているかを審査し、総合評価を100点満点として60点以上を合格とする。

論文審査項目

- ① 研究成果の関連学会等での口頭発表や学術誌への論文発表等に取り組み、学術的な討論・批評（レビュー）の経験を深め、高度技術研究者に相応しい総合的な研究能力が涵養されている。

- ② 関連する複数の学術領域における自らの研究の位置づけを的確に行った上で、自らの研究の独自性と当該学問領域ひいてはシステム科学技術の進展への寄与・貢献を明確に主張している。

- ③ 自らの研究成果を踏まえて、関連学術分野における今後の進展の方向性や新たな課題を提示している。

- ④ 研究計画の立案及び遂行、研究資料の収集及び管理、学位論文の作成及び発表に関して、適切な倫理的配慮がなされている。また、学内の研究活動の不正行為防止に関する規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守している。